

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	選択的IRパルス併用cine-dynamic MRCPを用いた胆汁や膵液の流れに関する検討		
② 実施予定期間	2023年11月6日から2029年3月31日		
③ 対象患者	以下の対象期間中に当院の対象診療科でSIEMENS社製の3テスラMRI装置(MAGNETOM PrismaまたはSkyra)を用いて、腹部MRI検査を受けられた18歳以上の患者さん		
④ 対象期間	2018年5月1日から2023年8月31日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	放射線科、第1内科、第1外科、第2外科		
⑦ 研究責任者	氏名	田辺 昌寛	所属 放射線科
⑧ 使用する情報等	識別コード、年齢、性別、身長、体重、現病歴、既往歴、血液生化学検査結果（総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、トリグリセリド、クレアチニン、アミラーゼ、リパーゼ、HbA1c）、MR画像（選択的IRパルス併用cine-dynamic MRCPにおける膵液・胆汁の排出回数、移動距離、グレード、逆流の頻度、MR装置の撮像条件）		
⑨ 研究の概要	<p>胆道系や膵臓のMRIの画像診断は、組織や病変の形態・信号変化・造影効果などに基づく診断中心に行われています。一方、MRIは血流をはじめとする流れを評価する撮像法もあります。選択的IRパルスを併用したcine-dynamic magnetic resonance cholangiopancreatography (MRCP) では、胆汁や膵液の流れを可視化することで可能で、胆汁排出動態や膵外分泌機能の指標となる可能性があります。胆汁は一般的には肝臓から十二指腸に向かって流れていますが、一部の症例では逆流が生じることが知られています。しかし、逆流が起こりやすい状態に関する詳細な検討は未だ報告されていません。</p> <p>本研究の目的は、選択的IRパルス併用cine-dynamic MRCPを用いて胆汁や膵液の逆流が生じる頻度を調査し、逆流が起こりやすい病態について探索することです。日常診療で行われた選択的IRパルス併用cine-dynamic MRCPで撮影された画像と、胆汁や膵液の動態を患者背景や血液検査所見と組み合わせて評価することで、胆道系</p>		

	や膵臓の機能診断として臨床応用できる可能性があります。			
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2026年 2月 27日		
⑪ 研究計画書等の 閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。			
⑯ 利益相反	ありません			
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：田辺 昌寛			
	電話	0836-22-2285	FAX	0836-22-2285